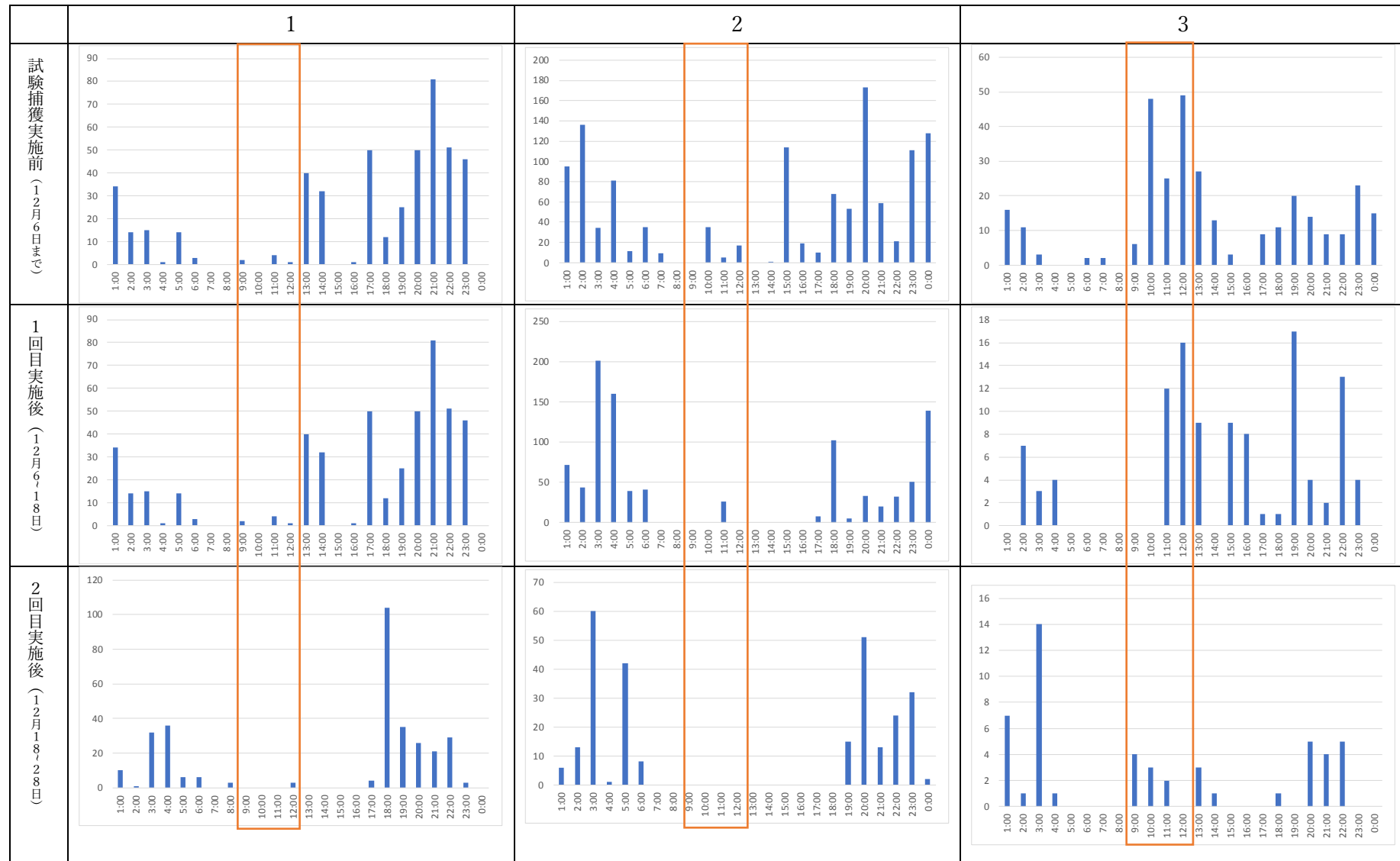
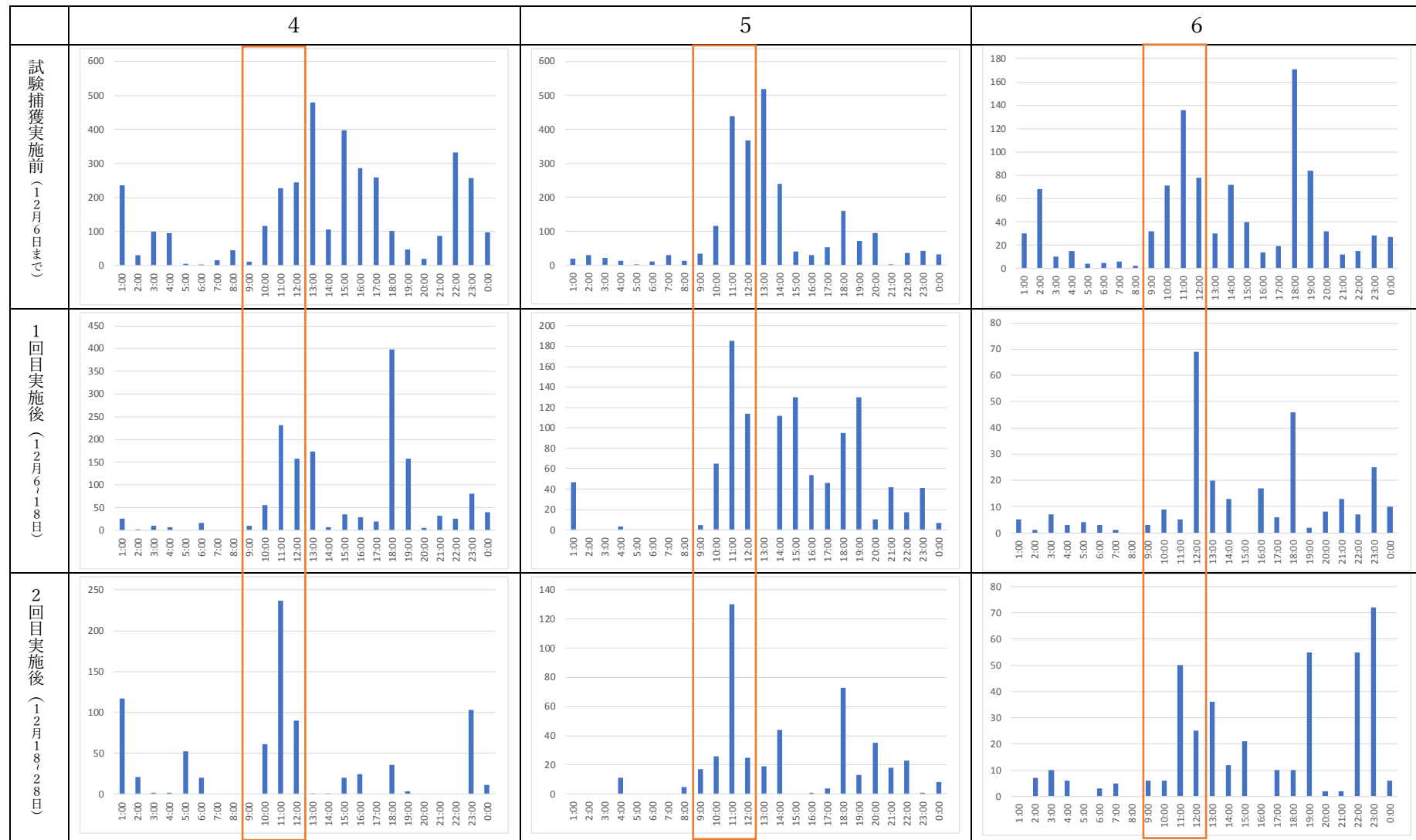


○誘引状況の時間別出没状況（小楊子林道 24 支線）

誘引地点に設置したセンサカメラの撮影イベントを 1 時間ごとに集計してヒストグラムに整理した（例：1:00=0 時～1 時までの合計）。

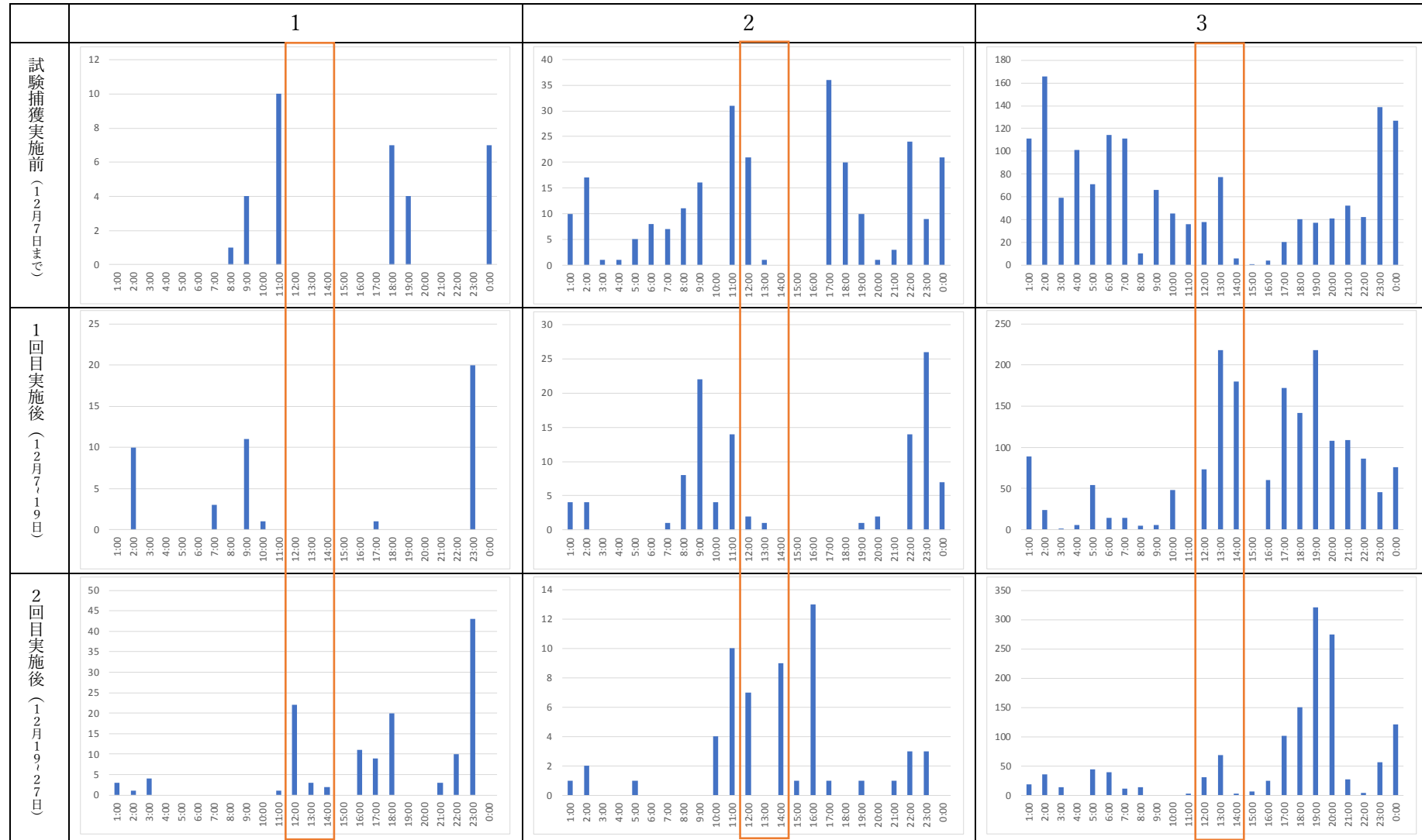


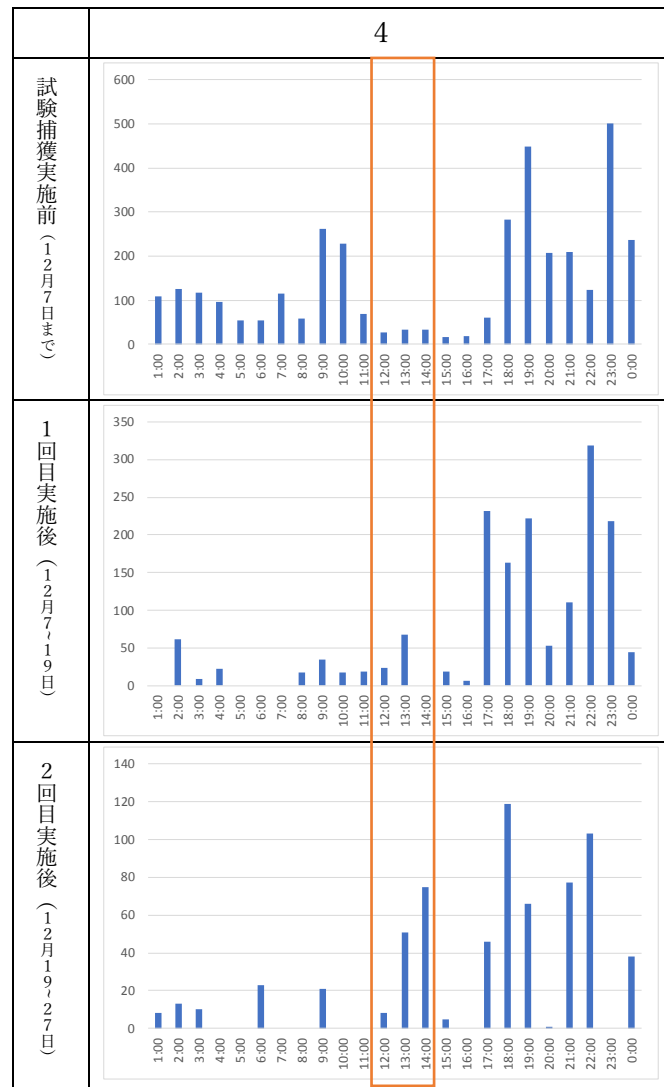


誘引地点1および2では試験捕獲実施前後で大きな変化はなく朝から昼にかけて出没頻度が低い地点であった。捕獲を実施した誘引地点3～6は日中の出没頻度が高く、捕獲および誘引作業時間である9時～12時（□部）においては捕獲実施後も継続して出没しており、シャープシューティング体制による継続的な捕獲が可能であると考えられる。

○誘引状況の時間別出没状況（安房林道 63 支線）

誘引地点に設置したセンサカメラの撮影イベントを 1 時間ごとに集計してヒストグラムに整理した（例：1:00=0 時～1 時までの合計）。





安房林道 63 支線では捕獲はできなかった。誘引作業を重ねることで、捕獲および誘引作業時間以降に出没する傾向（誘引作業後に出没するようになり、深夜から早にかけての出没件数が減った）がみられるようになり、時間をかけることで誘引が可能になると考えられる。

捕獲および誘引作業時間は 12 時～14 時（ 部）。